

基本目標

4



miyaki
town
master
plan




暮らしを支える 産業が伸びゆくまち



施策分野

ページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS P36

| | | | | | | | |
|---|---------|-----|---|----|----|----|----|
|  | (1) 農業 | ▶70 | 2 | 13 | 14 | 15 | |
|  | (2) 商工業 | ▶73 | 8 | 9 | 11 | 12 | 15 |
|  | (3) 観光 | ▶76 | 8 | 11 | 15 | 17 | |

暮らしを支える産業が 伸びゆくまち



(1) 農業

施策分野の目標

高収益な農業の実現のため、付加価値の高い作物へ転換できるよう環境を整備します。環境保全型農業（⇒ P138）への転換を促す一方で、農業用排水路、農業施設の維持管理・整備を図り、優良農地の保全に努めます。また、集落営農組織（⇒ P139）等を育成し、農地の集積を進めながら地域農業の生産性向上を図り、農業の担い手確保に努めます。

| | | 目標値（R14 年度） | 実績値（R5） | 実績値（当初） |
|----------|-----------|-------------|---------|---------|
| 成果 指標 | 高収益作物への転換 | 22.8ha | 18.6ha | 17.8ha |
| | 認定農業者数 | 160件 | 138件 | 136件 |

主な現状と課題

- 主食用米の需要が減少し、買取価格が低下しているため、農業者の収益が落ち込んでいます。
- 土地改良施設（⇒ P140）の老朽化が進んでいるため、維持管理について検討が必要です。
- 遊休農地が増えているため、適切な管理が必要です。
- 本町の農業を維持していくため、「人・農地プラン（⇒ P140）」を実行していく必要があります。
- 集落営農組織の法人化は町内で進展がみられるものの、各生産者の一部では営農に関する考え方が異なります。
- 農業の担い手確保のため、新規就農者に対して経済的支援を行っています。

基本施策

01 農業経営の多角化

佐賀県農業協同組合等の関係機関との連携により、消費者ニーズの把握に努め、高収益作物への転換を推進します。また、本町を取り巻く生態系や水と緑豊かな町土保全のために、減農薬や有機農法等による環境保全型農業への参加農業者の増加を図り、作物の品質向上による高付加価値化を促進します。

主な取り組み

- 高収益作物や高付加価値作物への推進
- オーガニックビレッジ (⇒ P137) 構想の検討
- 地産地消の推進
- 学校給食における地場産「有機」農産品の使用の促進
- 市民農園、体験農園の検討
- 地域おこし協力隊の活用
- 農福連携 (⇒ P140) の推進

02 農業生産基盤の整備・拡充

農業用排水路、農業施設の維持管理・整備を図り、優良農地の保全に努め、地域共同で農村集落環境の適切な管理を行い、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を促進します。また、中山間地での農業を維持するため、必要な支援を行います。

主な取り組み

- 優良農地の確保・保全
- 農道の補修、農道や農業用排水路の草刈りや保全に対する支援
- 土地改良施設等の維持管理
- 関係機関と連携した獣害対策の強化

03 集落営農組織の育成強化

集落営農組織を育成・強化し、新しい農業経営体への支援を行います。また、地域全体で経営力を高める農業の仕組みづくりを支援します。共同化等による大幅な労働軽減とコスト低減や生産性の向上を目指すとともに、農地の集約等を進め、農業組織の強化を図ります。

主な取り組み

- 農地の集積・集約化
- ICT等を活用したスマート農業 (⇒ P139) の推進
- 集落営農組織の育成・強化
- 農業のビジネス化の推進

04

農業の担い手の 確保・育成、 認定農業者の育成

新規就農者等の確保や育成、認定農業者の育成、女性農業者の農業経営参画を推進します。

主な取り組み

- 新規就農者及び認定農業者の育成
- 女性の就農、農業経営参画への支援
- 兼業農家の継続支援



関連部署

農林課、産業支援課、農業委員会



関連計画

みやき町国土強靱化地域計画／みやき町国土利用計画／
みやき町都市計画マスタープラン／みやき町総合戦略／みやき町男女共同参画計画

暮らしを支える産業が 伸びゆくまち



(2) 商工業

施策分野の目標

商工会や事業者と連携して、経営者に対し適切な支援を行い、既存商業・サービス業の維持・向上を図りながら、住民生活の利便性と質の維持・向上を目指します。また、地域経済の活性化及び若年層の地元での雇用機会の増加を目的として、工業団地の造成を計画的に進めます。

| | | 目標値 (R14 年度) | 実績値 (R5) | 実績値 (当初) |
|----------|---|--------------|----------|----------|
| 成果 指標 | 進出企業数 | 35 社 | 30 社 | 30 社 |
| | 中小企業小口資金融資数 | 15 件 / 年 | 14 件 / 年 | — |
| | 創業支援件数 <small>※創業支援補助は商工会に所管変更ため指標変更</small> | — | — | 5 件 / 年 |

主な現状と課題

- 商工会と連携した創業者支援を行うとともに、中小企業の維持発展及び振興を目的として、町が融資の保証料を負担する小口資金融資を行っています。
- 本町を取り巻く環境の変化や、中小企業を取り巻く状況に合わせて、国の補助金等の支援策を周知する必要があります。
- 工業団地の造成には一定の面積以上の広い土地が必要ですが、現在、本町は適した土地を有していない状況です。そのため、新たに工業団地を造成するには、農地を開発することになり、町の基幹産業である農業との調整が必要となります。
- 先端設備等導入計画の認定を行い、中小企業の設備投資を支援しています。また、商工会・県・佐賀県産業振興機構等と連携して、企業支援を行っています。

基本施策

01

地元商業・サービス業の振興

近年、フリーランス（⇒ P140）の増加や電子決済の普及等、商業のあり方は多様化しています。そうした中で地元商業経営者への適切な支援を行うため、本町の商業の現状把握を進め、それに基づいて、魅力ある商業が展開できるよう各種支援に努めます。

主な取り組み

- 小規模企業者、個人事業主への適切な支援
- 各種補助金等の活用促進
- 商工会等と連携した現状把握や創業者支援等

02

地元消費の推進

地元経済の好循環を創出するため、関係団体と連携し、地元産品の販路拡大や地産地消を推進するとともに、移動販売事業を促進します。

主な取り組み

- 電子マネーの活用促進
- 移動販売の促進

03

工業団地開発の推進

本町の産業構造のバランス、環境への影響等を踏まえながら、工業団地の造成を進めていきます。また、民間の開発については、適切な誘導を行います。

主な取り組み

- 工場適地調査の実施
- 工業団地の開発
- 空き工場等遊休施設や遊休地の把握

04

企業誘致の推進

本町の地理的優位性を活用し、県など関係機関と連携を図りながら誘致活動を展開し、新規雇用の創出と就業機会の確保を目指します。誘致企業に対しては、企業間や町との情報交換が図れるよう、交流・支援に努めます。

主な取り組み

- 関係機関との連携
- 企業やサテライトオフィス（⇒ P138）等の誘致
- スマートインターチェンジ（⇒ P139）等の検討

05

新産業創出の環境づくり

地域経済の活性化を図るため、商工会をはじめ、県や佐賀県産業振興機構等との連携を図り、既存の企業の生産性向上のための支援を行うとともに、企業間や他分野との連携・交流のできる体制を整備します。

主な取り組み

- 既存の企業や誘致企業への各種支援
- 県との情報交換、補助金の紹介等の支援
- 企業間で交流ができる環境の整備
- 商工会等と連携した既存の企業の現状把握
- 特定地域づくり事業協同組合制度（⇒ P140）や外国人技能実習制度等の検討

06

伝統産業の活性化

県の伝統産業に指定されている「白石焼」をはじめとして、代々受け継がれてきた伝統産業の振興を図るため、県等と連携した事業継続支援はもとより、補助金の紹介等による支援を行います。また、これまでの歴史や文化、職人の技術や誇りにも焦点を

当てながら、観光施策との連携による知名度向上を目指します。

主な取り組み

- 伝統産業の振興
- 補助金の紹介等の支援



関連部署

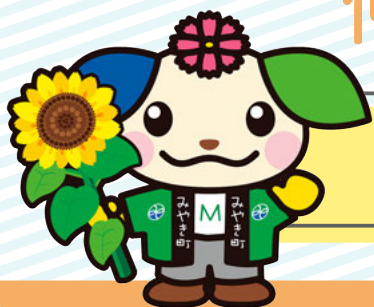
まちづくり課、産業支援課



関連計画

みやき町国土利用計画／みやき町都市計画マスタープラン／みやき町総合戦略／みやき町男女共同参画計画／みやき町自殺対策計画／経営発達支援計画／みやき町老人保健福祉計画

暮らしを支える産業が 伸びゆくまち



(3) 観光

施策分野の目標

住民がいつまでも「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進め、町への愛着を醸成するとともに、町の魅力を積極的に発信し、町外からは「行ってみたいまち」「住んでみたいまち」として、みやき町のファンや交流人口（⇒ P138）や関係人口（⇒ P138）を増加させ、新たな賑わいの創出を目指します。

| | | 目標値（R14 年度） | 実績値（F） | 実績値（当初） |
|----------|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| 成果 指標 | イベント来場者数 | 35,000 人 / 年 | 25,000 人 / 年 | 30,000 人 / 年 |
| | みやき町に愛着を感じている人の割合 | 84% | 73.7% | 74% |

主な現状と課題

- 町のプロモーションには、住民の町への愛着心が不可欠です。住民がいつまでも「住み続けたい」と思えるよう、住みやすいまちづくりを進めるとともに、地域資源の魅力の再発見、情報発信、各種イベント等を通じた愛着心の醸成が必要です。
- 町の景観、伝統文化、歴史を観光資源として活用するとともに、時流に合わせた観光コンテンツの創出、磨き上げが必要です。
- 心のやすらぎを感じられ、人と人とが集い、ふれあえる場となっている公園・緑地を地域の資源として活用する必要があります。

基本施策

01

タウンプロモーションの推進

インナープロモーション（⇒ P137）により、住民の愛着心を育み、住民が積極的に本町の魅力を町外に伝えられるよう環境を整えます。また、地域資源の活用によるPR活動や新たな広告媒体を活用した情報発信等のアウトタープロモーション（⇒ P137）により、交流人口や関係人口の創出を推進します。

主な取り組み

- イベント等の充実
- みやきブランドの推進
- 情報発信及び発信力の強化

02

観光、イベント、レクリエーションの取り組み

福岡市から車や鉄道で 60 分圏内である利点を生かした、都市近郊型の観光イベントに取り組みます。また、日帰りでの史跡めぐりや自然を楽しむスポットづくり、感染症の流行状況による社会情勢に応じた少人数対応の体験型イベント等、新しいタイプのイベントにも取り組みます。

主な取り組み

- 住民イベントの創出
- 体験型イベントの創出
- 公共施設の活用

03

交流の活性化を目指した観光PR・情報発信の推進

SNS を活用した情報発信や、県東部エリアの自治体や九州佐賀国際空港等とコラボ企画を打ち出し、国内外からの交流を活性化させ、適切なタイミングで本町の魅力的なスポット等を発信していきます。

主な取り組み

- SNS 等を利用した情報発信の強化
- 地域おこし協力隊の活用
- 住民が積極的に町の情報を発信できる環境づくり
- 企画の充実

04

観光資源の保全・活用

筑後川や鷹取山等の自然を活かした観光資源について、ふれあいの場として活用できるように利便性の向上を図ります。

また、自然環境や史跡、イベント等を活用した観光ルートを開発、検証し、町外からの利用者拡大を促進します。

主な取り組み

- 住民イベントの支援
- 名木や景勝地の保全活動
- 伝統産業の振興

05

公園・緑地や水辺環境の整備

地域住民とともに、住民の憩いの場、子どもの安全な遊び場、高齢者の健康・生きがいがづくり・交流の場となる公園・緑地の適正な維持管理と整備を進めます。

ホタル等多様な生物が生息する清らかな川の流れを守り、住民に親しまれる河川公園を整備する等、生物にやさしい水辺環境づくりに努めます。

主な取り組み

- 公園・緑地の整備
- 地区住民主体の地区公園の管理・支援
- 地元団体の活動やホタルの生息状況等の情報発信



関連部署

情報未来課、建設課、農林課、産業支援課



関連計画

みやき町国土利用計画／みやき町都市計画マスタープラン／みやき町総合戦略／みやき町景観計画

